北海道教育大学附属札幌中学校 辻谷寛大 2年

私の祖父がジャズ好きで、トロンボーンの演奏を趣味としていた影響で、私も楽器に興味を持ち、祖父と同じトロンボーンを小学四年生から習い始めた。祖父の勧めで「ジャズの巨匠」達の名盤をひたすら聴いて完全にジャズに惹きつけられてしまった。サックスプレイヤーのジョン・コルトレーンの『ブルートレイン』という曲を初めて聴いた時、トロンボーンプレイヤーのカーティス・フラーのソロに心を奪われた。コルトレーンの激しいソロに続き、負けじとぶっ飛ばすトランペットのモーガンの次に入ってくるフラーは、単純なフレーズに熱いグルーヴを効かせた演奏で2コーラス、3コーラス目からは速吹きに参加。それは当時の私にとって、とても衝撃を受けたフレーズの数々だった。

すっかりフラーの虜になった私はフラーの参加するアルバムを聴きまくった。彼の味のある、切なさの中にもどこか温かみのあるような、心に共鳴する音色を耳にすると、まるで最高級の毛布にくるまれたような幸せな感覚になる。モダンジャズを代表する世界的なジャズトロンボーンプレイヤーであるカーティス・フラー。彼こそが私の「推し」である。

私は札幌の二つのビッグバンドに所属し、憧れの彼の演奏に少しでも近づけるよう、日々 トロンボーンの練習に打ち込んでいるところだ。

二〇二一年五月、彼が亡くなった。フラーの生演奏は聴いたことがなかったし、もうそれが絶対に叶わないことはとても悲しく、寂しい。だが、彼が素晴らしい沢山の作品を残してくれたことに感謝し、これからも彼のような音を目指して練習を続けることが私の推し活だ。

彼の音楽はこの世に生き続けていくのだ。何度でも聴くことができて、新しい発見ができる。彼の曲を演奏したり、バンドの仲間やトロンボーンの先生や祖父と、彼のことを語り継ぐのも楽しい。

ファンキーでアーシーで情熱的でロマンチックで、私を興奮させ、優しさで包みこんでくれるあなたが、いつまでも私の推し。私にジャズと出会わせてくれた祖父にも感謝だが、あなたが、こんなにも私をジャズとトロンボーンにのめり込ませてくれて、私の人生に彩りを与えてくれたことは間違いない。ありがとう、カーティス・フラー。いつかそちらで一緒にセッションをしてもらえないだろうか。